

名古屋大学メディアプロフェッショナルコース
開設10周年記念公開講義

日本に関わる歴史と 領土をめぐる論争

—ドイツ・オーストリアとの比較分析—

尖閣諸島や竹島をめぐる領土問題や歴史認識をめぐる緊張が高まる東アジア。主著『反軍国主義の文化—ドイツと日本の安全保障』で注目され、日本とドイツの安全保障政策と政治文化に詳しい政治学者トマス・バーガー氏を本学にお招きし、日本を取り巻く領土問題や歴史認識にかかわる論争を、欧州におけるドイツやオーストリアのケースと比較して分析する。



ボストン大学国際関係学部准教授。専門は国際関係論、特にドイツおよび日本の安全保障政策、政治文化論。著書に、左記の他『戦争と罪、第二次世界大戦後の世界政治』（ケンブリッジ大学出版会 2012年）。

米国ボストン大学准教授 トマス・バーガー 公開講義

【使用言語】 英語・日本語(逐次通訳予定)

2013年11月22日(金)
15時～17時(開場14時30分)
名古屋大学文系総合館7階
カンファレンスホール

入場無料

事前申込
不要



司会：名古屋大学国際言語文化研究科教授 中村 登志哉

主催：名古屋大学国際言語文化研究科メディアプロフェッショナル論講座

助成：名古屋大学総長裁量研究費(教育奨励費)研究プロジェクト

「世界と対話する-世界が日本を見る眼、日本が世界を見る眼」(研究代表・中村登志哉教授)

照会先：名古屋大学国際言語文化研究科メディアプロフェッショナル論講座事務局 メール gen-mediajim@lang.nagoya-u.ac.jp